

平成31年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

校訓である「自主自律」「和親協力」を背景に、変化の激しい時代に対応できる人を育て、生徒・教員がともにチャレンジする学校をめざす。

- 1、基礎学力の定着を背景に広い教養を身につけ、健全な議論や思考等ができる基礎的・汎用的能力の育成をめざす。
- 2、急速に進むグローバル化に対応する英語教育を根幹とした新しい国際教育を研究・開発・展開する。
- 3、自由な校風と校訓「自主自律」「和親協力」を背景に、学習と部活・行事の両立をはかる。

2 中期的目標

1、学力の向上

- (1) 学習習慣の定着を図る。

- ア. 学校での学びと家庭学習を効果的に結びつけ、高校生として必要な基礎学力の定着をはかる。
- イ. 探求的な学習を中心として学習活動全般で、社会人として通用する基礎的・汎用的能力の土台作りを行う。

※効果検証 学力生活実態調査の結果： 【実績】 **入学時** A3以上 294名 (H30)、294名 (H29)、287名 (H28)

高3のスタート段階 A3 63名 (H30) 65名 (H29)、47名 (H28)

【目標】 H31年度…入学時9クラスでA3以上が約270名以上→高3のスタート段階が約80名以上

- (2) 教員育成のための研修・勉強会を実施し、統計資料を担保とした効果検証を行い、フィードバックを行い、次年度へつなげる。

- ア. 上記(1)を実現するために、検討された内容を教科横断的な研修・勉強会を通じて、検討・定着を進める。
 - イ. 検討された上記(1)について生徒アンケートや模擬試験などの結果から効果検証とフィードバックを行い、授業実践に活かす。
- ※効果検証 授業満足度(3項目平均)について、保護者アンケートにおける肯定的評価をH31年度70.5%→2021年度80%以上。

- (3) 上記を実現するために必要な学校組織の業務運営の整備を進める。

- ア. 上記(1)(2)を達成するために、スクラップアンドビルドを認識し、必要な業務内容を精選する。
- イ. 特に、新カリキュラムへの移行に伴う諸課題を解決しながら、教員が生徒とかわる時間を確保する。

2、グローバル時代に対応する教育実践の導入と展開

- (1) 4技能を英語授業に毎時間組み込んだ授業展開とさらなる英語教育の充実をはかる。

- ア. 「骨太の英語力養成事業」の成果を踏まえ、4技能、特にoutput重視の英語教育を実施する。
- イ. CEFRを外部評価基準とし、英語学力調査を国際科及び普通科全体で継続する。(評価指標は下記を参照、なお、H31年度1年生より9クラス編成)
- ウ. 海外留学生の受け入れ態勢を準備・計画し、海外研修、国内キャンプ及び修学旅行などで英語教育の機会を充実させる。

エ. 外部との連携を図り、生徒とともに教職員も学び続ける。

- (2) ロジカル・クリティカルシンキング思考を学び、そのスキルを習得できるよう「総合的な探究の時間」を中心に実践を広げる。

ア. 日本語のディベートやプレゼンテーションなどをとり入れ、ロジカル・クリティカルシンキングを深めさせ、通常授業へ順次導入していく。

イ. 海外研修や修学旅行についても、事前事後学習も含む全過程を通じてロジカル・クリティカルシンキングを使いながら成果発表へとつなげる。

1年生時 Listening, Writing, Reading 目標					
H31年度		2020年度		2021年度	
B1	35名	B1	40名	B1	45名
A2	240名	A2	250名	A2	255名
A1	45名	A1	40名	A1	40名
2年生時 Listening, Writing, Reading 目標					
H31年度		2020年度		2021年度	
B1	50名	B1	50名	B1	55名
A2	250名	A2	255名	A2	260名
A1	70名	A1	45名	A1	35名

1年生時 Speaking 目標					
H31年度		2020年度		2021年度	
Grade6~Grade7	10名	Grade6~Grade7	15名	Grade6~Grade7	20名
Grade4~Grade5	240名	Grade4~Grade5	250名	Grade4~Grade5	260名

2年生時 Speaking 目標					
H31年度		2020年度		2021年度	
Grade6~Grade7	15名	Grade6~Grade7	20名	Grade6~Grade7	25名
Grade4~Grade5	260名	Grade4~Grade5	265名	Grade4~Grade5	270名

3、学習と部活・行事を両立しながらの進路指導・生徒指導の強化

- (1) 生徒の進路実現のために保護者・教員が一体となった支援体制を確立する。

- ア. 国公立大学への進学実績を伸ばす。
- イ. 海外大学進学説明会や国内外の関係機関との連携を深め、海外大学への進学をめざすシステムを確立する。

※効果検証 ア：H30年度49名を2021年度80名以上。イ：2021年度は、海外大学進学希望者に対する合格者の割合として合格率80%以上。

- (2) 生徒主体の部活動・行事の運営と学習との両立を進める。

- ア. 基礎的な生活習慣の定着を進める。
- イ. 生徒会を中心とした、自主的な活動を推進する。
- ウ. 「大阪府部活動の在り方に関する方針」に沿い、生徒の自主活動や部活動と教職員の働き方とのより良いバランスを実現する。

※効果検証 ア：年間遅刻者数をH30年度4781件を、2021年度には約3300件まで減らす。

イ：自己診断「生徒会を中心とした自主的な活動が活発である」(生徒)2021年度には肯定的回答85%以上にする。(H30 79.2%)

- (3) 地域との連携を意識して様々な機会を通じて情報発信と協働を行う。

- ア. 生徒会や部活動を中心に地域のイベント、清掃活動、ボランティア活動等に参加し、地域への協力を進める。
- イ. HP等の電子媒体、リーフレット等の紙媒体及び学校説明会等広報活動で情報発信についてさらなる充実を努め、本校への理解の向上をはかる。

※効果検証 イ：HP更新回数 H31年以後は70回以上を継続し、内容の充実を努める。

学校教育自己診断保護者の「ホームページをよく見る」における平成30年度47.2%→2021年度57%以上

【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [令和 元年 12 月実施分]	学校運営協議会からの意見
<p>(全体としてのまとめ) 昨年同様、生徒・保護者・教職員すべてのアンケート項目 30 項目とし、回答しやすいように工夫した。すべて項目 (90) 中、昨年度と比較して肯定的評価が 3%以上 up した項目は 45、肯定的評価が 3%以上 down した項目は 13 となり、今年度の自己診断において、学校に対する「評価は概して昨年より向上している」と考えたい。しかし、学習指導に関しては、生徒「考えをまとめ発表」89.2%と毎年高い数値を示しているが、「授業が分かりやすく楽しい」54.8%、と低い状態のままであり、また、保護者「子どもは授業が分かりやすく楽しいと言っている」(57.6→62.1%) も up したとはいえ、満足度が他の項目と比べて評価が低い。学校の柱となる「学習関連項目」の評価が低いことが大きな課題である。生徒指導や人権教育に関しては、生徒、保護者、教員の共通項目で相反する結果となっている項目「生活指導方針の納得、」(生徒 down、保護者 up)、「教育相談」(生徒 up、保護者 down)、「人権教育」(生徒 up、保護者 up、教員 16%down) に関しては、次年度、より詳細な分析を進め、3つの対象者すべてで UP するように働きかけていきたい。</p> <p>(生徒による評価) 肯定的評価が 3%以上 up した項目は 16、肯定的評価が 3%以上 down した項目は 1 となり、生徒の学校生活への満足度が上がっていると考えられる。特に、学校方針全体に関わる項目及び安全安心に関わる項目の満足度が向上していると考えられる。具体的には、「学校教育方針の伝達」(63.6→69.4%)、「箕面高校への信頼」(67.7→71.5%)、「災害などが起こった場合の行動の情報提供」(49.6→57.4%)、人権に関わる項目「命の大切さや社会のルールを学ぶ」(78.2→81.5%)、「人権について学ぶ」(78.2→81.5%)、「教育相談」(58.1→64.5%)、「いじめ対応」(77.0→82.6%) となった。生徒指導については、「生活指導への納得」(75.5→71.8%) と唯一の down 項目であるが、「生活規律や学習規律の確立に力」の項目が 70.4→77.0%と up していることから、今年度遅刻指導やスマホ指導の強化、授業中の学習規律確立の強化を教員全体で取り組んできたことの結果と考えられる。</p> <p>(保護者による評価) 肯定的評価が 3%以上 up した項目は 15、肯定的評価が 3%以上 down した項目は 6 となり、学校活動の情報提供の方法や頻度に課題があると考えられる。具体的には、「ホームページ」の項目 (47.2→43.7%)、「学習内容や進度の伝達」(68.0→63.4%)、「特色ある教育活動への取り組み」(84.4→77.3%)、「教育相談」(74.8→68.1%) である。次年度は、より一層、保護者へのきめ細かな情報伝達を学校全体で進めていく必要がある。満足度が向上している項目については、「いじめ対応」(72.4→84.4%)、「箕面高校への信頼」(78.3→86.3%)、「生活(徒)指導方針」(81.0→86.4%) なり、今年度の取り組みの成果の現れと考えたい。</p> <p>(教職員による評価) 全般的に高い結果であり、肯定的評価が 3%以上 up した項目は 14、肯定的評価が 3%以上 down した項目は 5 となった。より一層の教員力向上に努めてまいりたい。特に、大きく向上した項目は「初任・若手の育成体制の構築」(47.5→71.9%)、「国際交流や異文化理解教育」(65.9→84.4%) である。逆に大きく下がった人権に関わる項目「命の大切さや社会のルールを学ぶ機会」(H29 46.7→H30 82.5→63.6%)、「いじめ対応」(H29 79.5→H30 87.5→78.1%) と大きく変動しているため、一貫した指導や引継ぎの体制を構築していく必要がある。</p>	<p>令和元年度 第1回学校運営協議会 令和元年5月31日(金)実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 何らかの形で学校と保護者がかかわる機会を増加させてほしい。 学校の行事予定をよりオープンな形で公開してほしい。 進学情報について可能な範囲で大学名だけでなく学部まで分かるようにしてほしい。 未経験の部活動の顧問となったときの指導法のノウハウを共有し、生徒を指導してほしい。 若手教職員の意欲をあげる方向で、支援・指導をより充実させてほしい。 <p>令和元年度 第2回学校運営協議会 令和元年11月6日(水)実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 英語の授業をより活発で発表型の授業にしてほしい。 生徒の3年間の成長を見守り、発見する場が増えればありがたいと思う。 音楽の授業では、社会に出てからの必要な能力を育てる仕組みが取り入れられており、かつ楽しそうであった。 中学校では、遅刻は減少傾向にある。改善を求めたい。 <p>令和元年度 第3回学校運営協議会 令和2年2月7日(金)実施予定</p> <p>○ H31 及び R2 学校経営計画及び学校評価(案)の承認及び R2 教科書採択についての了承。</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業アンケート結果から教員の工夫は感じられるが、授業への興味・関心をさらに高める工夫をお願いしたい。 英語教育についての取り組みは進んでいると思われるが、それらが生徒に伝わる仕組みへと変えていってほしい。 保護者が参加できる行事・講演等を増やしてほしい。 若手教員向けに人権研修を入れておいてほしい。 海外進学、国際交流等を踏まえて TOEFL の導入を検討してほしい。

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
学力の向上	<p>(1) 学習習慣の定着</p> <p>(2) 教員研修・勉強会による教育力の向上</p> <p>(3) 学校組織の整備</p>	<p>(1) 授業と自学・自習をバランス良く実施し、基礎学力の定着をはかる。</p> <p>(2) 上記(1)を遂行するために、</p> <ul style="list-style-type: none"> 新採者育成を含めた若手教員中心の勉強会を首席が中心となり年5回以上実施する。 授業アンケート(7、12月)の課題把握と成果検証と教職員へのフィードバックを実施し、授業改善に結びつける。 <p>(3) 新カリキュラムへの移行に伴い、学力がより一層向上するよう、学校組織における分掌・委員会の活性化をはかるとともに、中長期の視点に立った組織運営と人材配置を進める。</p>	<p>(1) 授業アンケートの「授業に対する生徒の取り組み1」(必要な予習や復習) H30 2.85→3.0以上。また授業アンケート8(授業への興味・関心)、9(授業が身につく)の平均で H30 3.0→3.1以上。</p> <p>(2) 以下の内容の完成と遂行をめざす。</p> <ul style="list-style-type: none"> 新カリキュラム及び授業プロセスを中心に勉強会を実施。 自己診断「教員校内研修が役立つ」目標値：肯定感 H30 73.7→77%以上。 新採及び若手教員に対する人材育成ルートマップの完成。 自己診断の学習指導の保護者アンケート(3項目平均)における「肯定感」73.0%→76%以上 12月の授業アンケート学校平均(生徒意識1、2) H30 3.0→3.1以上。 (3) 本校の学校教育自己診断における全般に関する質問で肯定感 H30 85.5%→90%以上(生徒) 自己診断「教職員の学校組織に関する項目」の肯定感 H30 75.6%→80%以上。 	<p>(1) (必要な予習や復習) 2.79(△) 授業アンケート8、9で、3.03(△)</p> <p>(2) ・若手教員中心の勉強会6回実施。・授業アンケートフィードバック2回実施。自己診断「教員校内研修が役立つ」肯定感77.4%(○)・新採及び若手教員に対する人材育成ルートマップのほぼ完成。(○)自己診断の学習指導の保護者アンケート(3項目平均)における「肯定感」71.9%(△)・12月の授業アンケート学校平均(生徒意識1・2) 3.05(△)</p> <p>(3) 学校教育自己診断における全般に関する質問で肯定感87.4%(△)</p> <ul style="list-style-type: none"> 自己診断「教職員の学校組織に関する項目」の肯定感81.3%(◎)

府立箕面高等学校

グローバル時代に対応する教育実践の導入と展開	<p>(1) 4技能を英語授業に毎時間組み込んだ授業展開とさらなる英語教育の充実</p> <p>(2) ロジカル・クリティカルシンキングの理解と実践</p>	<p>(1) ア. 広がる英語教育推進プロジェクトと教科内相互授業見学による研さんより4技能教授スキルと授業プロセス改善に取り組む。</p> <p>イ. 国際グループを中心に、GTECの現状分析と課題の把握を継続し、今後の方向性と課題解決策の策定作業を英語科とともに取り組む。</p> <p>ウ. 国内外英語教育機会への参加とその紹介に努め、参加に努める</p> <p>エ. 海外大学による模擬授業や外部機関による研修への参加の促進</p> <p>(2)</p> <p>ア. 総合的な探究の時間の2年生全クラスでの円滑な実施。</p> <p>イ. 海外研修や修学旅行目的・実施について学校経営計画との整合性を高める。</p>	<p>(1) ア、イ. 1、2年外部評価試験全員受験で、2019年2学期実施で以下の遂行をめざす。</p> <table border="1" data-bbox="1052 261 1507 448"> <tr> <th colspan="4">Listening, Writing, Reading 目標</th> </tr> <tr> <th colspan="2">1年生</th> <th colspan="2">2年生</th> </tr> <tr> <td>B1</td> <td>35名</td> <td>B1</td> <td>45名</td> </tr> <tr> <td>A2</td> <td>240名</td> <td>A2</td> <td>260名</td> </tr> <tr> <td>A1</td> <td>45名</td> <td>A1</td> <td>50名</td> </tr> </table> <table border="1" data-bbox="1041 448 1610 596"> <tr> <th colspan="4">Speaking 目標</th> </tr> <tr> <th colspan="2">1年生</th> <th colspan="2">2年生</th> </tr> <tr> <td>Grade6~Grade7</td> <td>10名</td> <td>Grade6~Grade7</td> <td>15名</td> </tr> <tr> <td>Grade4~Grade5</td> <td>240名</td> <td>Grade4~Grade5</td> <td>260</td> </tr> </table> <p>ウ. 海外研修 80名以上参加の継続。海外研修の更なる内容検討と整備。事後アンケート満足度 93%以上の継続。</p> <p>エ. 校内での海外大学模擬授業・説明会の複数回実施。</p> <p>(2) ア、イ</p> <p>・2年総合的な探究の公開発表会年2回以上実施及び海外研修の文化祭発表し、学校全体や社会に開かれた活動とする。</p>	Listening, Writing, Reading 目標				1年生		2年生		B1	35名	B1	45名	A2	240名	A2	260名	A1	45名	A1	50名	Speaking 目標				1年生		2年生		Grade6~Grade7	10名	Grade6~Grade7	15名	Grade4~Grade5	240名	Grade4~Grade5	260	<p>(1) ア、イ. 1、2年外部評価試験全員受験。4技能統合データ</p> <table border="1" data-bbox="1625 261 1961 409"> <tr> <td>B1以上</td> <td>1年</td> <td>10名</td> <td>2年</td> <td>42名</td> </tr> <tr> <td>A2</td> <td>1年</td> <td>310名</td> <td>2年</td> <td>271名</td> </tr> <tr> <td>A1</td> <td>1年</td> <td>15名</td> <td>2年</td> <td>10名</td> </tr> </table> <p>Speaking データ</p> <table border="1" data-bbox="1625 448 1944 596"> <tr> <td>Grad e6~7</td> <td>1年</td> <td>11名</td> <td>2年</td> <td>39名</td> </tr> <tr> <td>Grad e4~5</td> <td>1年</td> <td>284名</td> <td>2年</td> <td>260名</td> </tr> </table> <p>(GTECの指標変更により統合評価掲載)</p> <p>(◎)</p> <p>ウ. 海外研修 81名参加実施。満足度 100% (○)</p> <p>エ. 校内での海外大学模擬授業2回を含む説明会6回実施 (○)</p> <p>(2) ア、イ</p> <p>・2年総合的な探究の公開発表会年2回実施。海外研修の文化祭発表実施。(○)</p>	B1以上	1年	10名	2年	42名	A2	1年	310名	2年	271名	A1	1年	15名	2年	10名	Grad e6~7	1年	11名	2年	39名	Grad e4~5	1年	284名	2年	260名
Listening, Writing, Reading 目標																																																																	
1年生		2年生																																																															
B1	35名	B1	45名																																																														
A2	240名	A2	260名																																																														
A1	45名	A1	50名																																																														
Speaking 目標																																																																	
1年生		2年生																																																															
Grade6~Grade7	10名	Grade6~Grade7	15名																																																														
Grade4~Grade5	240名	Grade4~Grade5	260																																																														
B1以上	1年	10名	2年	42名																																																													
A2	1年	310名	2年	271名																																																													
A1	1年	15名	2年	10名																																																													
Grad e6~7	1年	11名	2年	39名																																																													
Grad e4~5	1年	284名	2年	260名																																																													
学習と部活・行事の両立しながらの進路指導・生徒指導の強化	<p>(1) 進路実現のために保護者・教員が一体となった支援体制の確立</p> <p>(2) 生徒主体の部活動・行事の運営と学習との両立</p> <p>(3) 地域への情報発信と地域との連携・協働</p>	<p>(1) ア. 学年・教科での認識の差をできるだけ少なくするために、進路指導室を中心に定期的な研修や振り返りを実施する。</p> <p>イ. カウンセリングマインドをもって生徒に接することにより生徒指導・進路指導において一層の成果をあげる。</p> <p>(2) ア. 生徒会を中心とし、生徒主体の部活動・行事運営に関して、より発展的でシステム化されたものを検討する。</p> <p>イ、ウ. 「大阪府部活動の在り方に関する方針」に沿い、学習と部活のバランス及び教員の働き方と生徒の活動のバランスをとりながら成果をあげる。</p> <p>(3) ア. 生徒会部・保健グループの支援のもと、生徒が中心となって地域との連携活動(清掃活動、ボランティア活動等)を実施し、地域への発信も行う。</p> <p>イ. ホームページによる組織的な情報発信及び地域や教育産業等を通じた学校説明会を実施するなど、情報発信を丁寧かつ継続的に行う。</p>	<p>(1) ア. 模擬テスト、英語外部テスト結果等の研修会の実施とその成果を進路指導に反映する。研修会を5回以上実施し、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国公立大学合格者 H30 年度 50名 → 65名。 ・海外大学への進学合格率 H30 63% → 70%以上。 ・海外大学進学希望者に対する説明会の年間5回以上の継続。(H30 5回実施) <p>イ. 学校独自の SC 相談を5回以上確保する。また、自己診断「教育相談」(生徒)の肯定感 H30 54.6 → 58%以上。</p> <p>(2) 以下の内容の完成と遂行をめざす。</p> <p>ア. 教員と生徒会の協力による生活規律の改善。</p> <p>遅刻者数 H30 4781名 → H31 4200名以下。</p> <p>イ. ウ. 生徒会・行事における生徒の自主性を育み、教員のファシリテーション力を強化する。自己診断「生徒会を中心とした自主的な活動が活発である」87%以上。(H30 84.5%)</p> <p>(3) 以下の内容の完成と遂行をめざす。</p> <p>ア. 生徒会や各クラブが清掃活動を中心にボランティア活動等を年間50回(H30 40回程度)以上実施し、その成果をHP等で発信する。</p> <p>イ. 学校教育自己診断の保護者アンケートにおけるホームページ閲覧に関する質問での肯定率 H30 47.2% → 52%以上。更新回数年間70回以上、及び地域や教育産業を通じた学校説明会の15回以上実施を継続する。</p>	<p>(1) ア. 研修会を5回実施し、国公立大学合格者 58名(△)</p> <p>海外大学への進学合格率 50%。(△)</p> <p>海外大学進学希望者に対する説明会の年間6回実施。(うち1回は府内府立学校への公開実施)(◎)</p> <p>イ. 学校独自の SC 相談を6回実施、自己診断「教育相談」(生徒)の肯定感 H30 64.5% (◎)</p> <p>(2)</p> <p>ア 遅刻者数 5374名(△)</p> <p>イ、ウ自己診断「生徒会を中心とした自主的な活動が活発である」80.6% (△)</p> <p>(3) ア. ボランティア活動等を年間50回以上実施し、HPで発信済み。(○)</p> <p>イ. 保護者アンケートにおけるホームページ閲覧「HPを見ている」に関する質問での肯定率 43.7%。(△)・HP更新回数は年間100回以上、及び地域や教育産業を通じた学校説明会は16回実施。(◎)</p>																																																													